



**理事長プロフィール** すずき・えいじ ● 1953年生まれ。1978年学校法人東日本学園入職。事務局長、副理事長などを経て2021年10月より現職。

**大学プロフィール** 1974年創立。当別キャンパス(石狩郡当別町)に、薬学部、歯学部、看護福祉学部(看護学科、福祉マネジメント学科)、心理科学部(臨床心理学科)、リハビリテーション科学部(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚療法学科)。札幌あいの里キャンパス(札幌市北区)に、医療技術学部(臨床検査学科)の6学部9学科に加え大学院6研究科、さらに歯学部附属歯科衛生士専門学校を擁する。

## 医療系の総合大学として 多職種連携を推進。 その流れのなかで、 北広島市移転計画を発表

学校法人東日本学園 北海道医療大学  
理事長  
**鈴木英二**

**近**

年、医療の現場においては、専門性の異なる医療職がチームを組んで患者さんに対応する多職種連携が進んでいます。2024年に創立50周年を迎える医療系総合大学である本学も、「保健と医療と福祉の連携・統合」を教育理念として掲げられました。北海道医療大学病院をはじめとする臨床実習先には多数の卒業生が勤務しており、多職種連携の実際に触れることが可能です。また、本学には40を超えるクラブ・サークル団体があり、大所帯のクラブにはあ

ゆる学部・学科の学生が所属しているため、日常的に「うちの学科にはこんな講義や実習があるよ」という会話が交わされています。

異なる専門性をもつ人々との連携に力を注いでいることは、産学官連携の共同研究や地域貢献事業、さらには医療職や一般の方を対象とした公開講座の数にも表れています。災害時の医療支援体制の構築など、自治体のニーズに応えた共同研究も多く、なかでも北海道教育委員会と共同で開発した「子ども理解支援ツール」は、小・中学生のメンタルケアに役立つなど、心理科学部を擁する本学ならではの成果だと感じています。ちなみに同学部には、道内を巡回し高校生の心理相談を熱心に行っている教員もいます。どんな外に出ていくべきですし、積極的に学生も一緒に連れていき、刺激を与えてほしい。学外で得た貴重な知見を多くの学生に還元してくれることも期待しています。歯学部が実施してきた小・中学生対象の「1日歯医者さん」と題した職業体験をきっかけに、本学歯学部に入学生も大きく変えることもあるのです。

このように教育・研究・社会貢献それぞれの面で一定の責務を果たして

きた本学ですが、学生からはキャンパスの置かれた立地に対する要望が多かったのも事実です。10数年前までは半数に達していた道外からの入生の割合も減っています。

そこで昨年度発表したのが、北海道ポールパークFビルディング内における新キャンパス増設計画です。札幌市に隣接し、新千歳空港からのアクセスも良い北広島市の話題の場所に、2028年4月を目指し、2つのキャンパスを統合・移転することで、教育研究機能が一元化され、多職種連携の体制が一層整うことになるでしょう。

北広島市には保健、医療、福祉系の施設など実習先も揃っています。看護福祉学部のある教員は、研究を進めるうえでデータの収集に適切な規模であると語っていました。北海道日本ハムファイターズの本拠地ということも当然、スポーツもキーワードになるでしょう。北広島市を中心とした複数の自治体や大学との連携も視野にいられています。続報に期待してください。本学には、学生が伸び伸びと学べる環境が整っています。教職員も施設・設備も、外部との濃いつながりもあくまで学生の主体的な学びをサポートするためにあります。その姿勢が移転によって変わることはありません。